

市まち・ひと・しごと創生市民報告会を開催

「富士山の裾野 田園未来都市 すその」の挑戦

10月23日(金)に策定した、「市人口ビジョン」と「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容や市の今後の取り組みについて、報告会を開催します。

市が将来にわたって活力ある、住みやすいまちであるためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

企画政策課
☎995-1804



報告会趣旨

市では、市内就業者の市外在住率が増加していること、出生率が比較的高いものの子どもの人口が減少していることを課題と捉え、定住の促進と少子化への対策を主要施策の一つとして展開しています。

一方、人口減少・少子化の問題は国全体が直面している課題であり、国は、平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

これを踏まえ、市ではこれまでの定住の促進や少子化への対策を体系的に整理し、一層強力に推進するため、「市人口ビジョン」と「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、10月に策定しました。

開催概要

どなたでも自由に参加できます。

とき／12月11日(金) 19時～20時30分

※開場▶18時30分

ところ／市民文化センター 多目的ホール

報告会内容

- 「市人口ビジョン」と「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の内容説明
- 「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定に関わった市まち・ひと・しごと創生会議委員からの報告

10月23日に、「市人口ビジョン」と「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました



広報すその12月15日号で、概要を紹介します。市公式ウェブサイトでも公表しています。

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/ma/creation/machi-hito-sigotosousei.php>

市まち・ひと・しごと創生会議の活動報告

同会議は、当市のまち・ひと・しごと創生の推進にあたり、人口ビジョンや総合戦略の策定、総合戦略に基づき実施する施策の効果検証を行うため、幅広い年代からなる市民の皆さんや、産業界、教育機関、金融機関、労働団体、メディアなど各分野の代表者の参画を得て設置しました。市長が議長を務める、総勢 33 人の会議です。

同会議では、人口ビジョンと総合戦略の策定に向け、6月の設置から計4回の会議を開催し、会議の内外で協議を進めました。

6月 当市の現状の課題、問題意識の共有



人口動態や、産業での従業者の実態など、現在の市の課題、問題意識を共有しました。

7月 総合戦略施策の方向性



会議は「まち」「ひと」「しごと」部会に分かれ、それぞれの分野で、市のあるべき姿、総合戦略に盛り込む施策の方向性について議論しました。

8月 施策に基づく具体的な取り組み



7月に議論した、市のあるべき姿、施策の方向性に基づき、具体的に推進すべき取り組みを検討しました。

10月 総合戦略のキャッチコピーの検討 各分野が連携・協力する取り組み



これまでの議論を踏まえ、総合戦略を貫くキャッチコピーの案を検討しました。委員の投票で最も得票したキャッチコピーが、「富士山の裾野 田園未来都市すその」でした。

また、委員の皆さんが専門とする地域づくりや、産業、教育、金融、労働、メディアなどの各分野が連携・協力する取り組みについて検討しました。